

セキュアブレイン gred セキュリティレポート Vol.15【2010年9月分統計】

個人情報詐取のトレンドは偽ブランド品販売サイトに

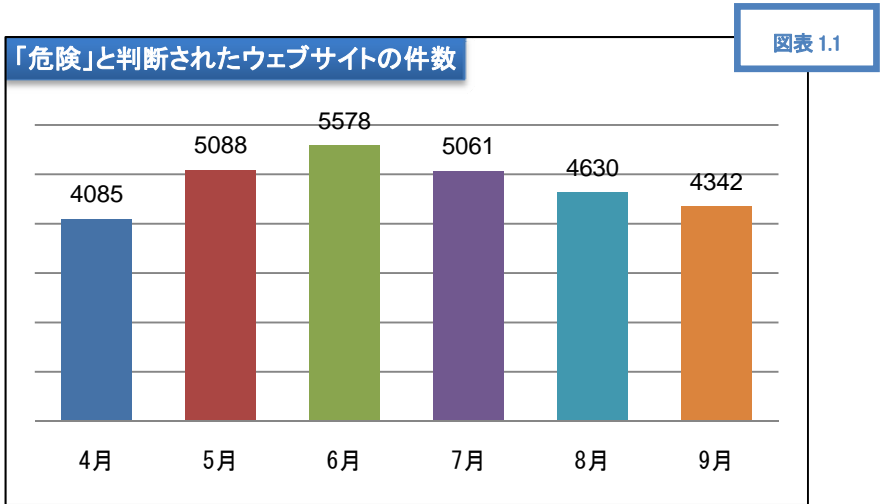
株式会社セキュアブレイン(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO:成田 明彦、以下「セキュアブレイン」)はセキュアブレインが運用する、無料のウェブセキュリティサービス「gred(グレッド)でチェック」で収集した情報を基に、「セキュアブレイン先端技術研究所」(以下 先端技術研究所)で分析を行い、その結果を「セキュアブレイン gred セキュリティレポート」として公表します。「gred でチェック」は、インターネットユーザがウェブサイトの安全確認を行うことができる、無料のウェブセキュリティサービスです。確認したいウェブサイトの URL を入力するだけで、セキュアブレインが独自に開発した解析エンジンが、ブラックリストを使用せず短時間で解析し、そのウェブサイトが「安全(Safe)」か「危険(Danger)」を判断します。

内容

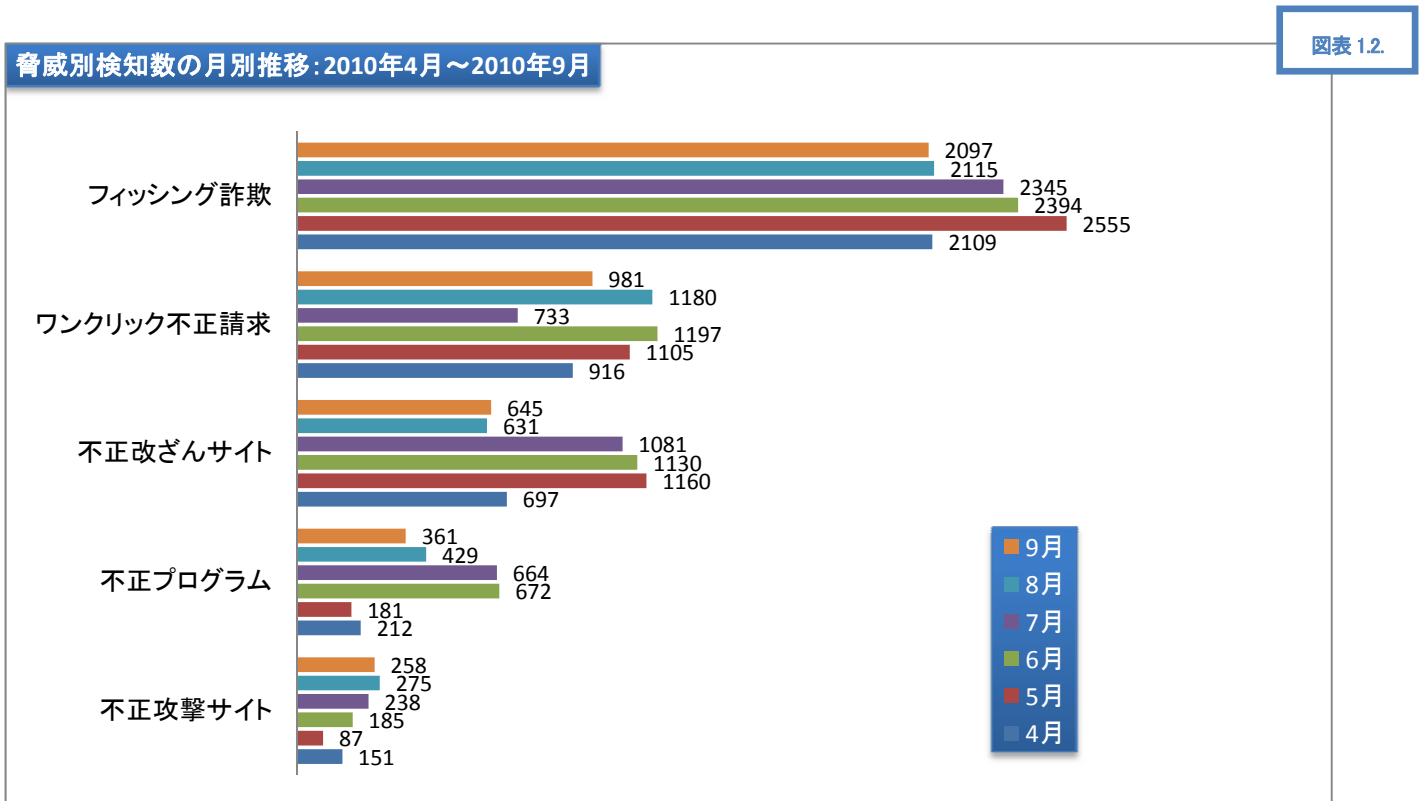
1	gred セキュリティレポート概要	2
1.1	「危険」と判断されたウェブサイトの数(図表 1.1.)	2
1.2	「gred でチェック」で検知した脅威の月別推移(脅威別)(図表 1.2)	2
1.3	「gred でチェック」月別総利用数(図表 1.3.).....	2
1.4	「gred でチェック」のチェック結果に表示される脅威の説明.....	3
2	数値で見る「不正改ざんサイト」の内訳(図表 2.1., 2.2.)	3
3	世界中に広がる不正改ざんの被害(図表 3.1)	4
4	フィッシング詐欺サイトのトレンドの変遷(図表 4.1)	5
5	個人・企業それぞれに求められる、セキュリティ対策とは?	5
5.1	個人向けの対策:「gred でチェック」「Internet SagiWall(インターネット・サギウォール)」「gred AntiVirus アクセラレータ」.....	5
5.2	企業向けの対策:「gred セキュリティサービス」	6

1 gred セキュリティレポート概要

1.1 「危険」と判断されたウェブサイトの数(図表 1.1.)



1.2 「gred でチェック」で検知した脅威の月別推移(脅威別)(図表 1.2.)



1.3 「gred でチェック」月別総利用数(図表 1.3.)

図表 1.3

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
「gred でチェック」総利用数	55,025	58,365	57,346	56,419	49,669	49,565

- 「危険」と判断されたウェブサイトの件数は、4,342 件(前月比 93.8%、図表 1.1.)。8 月の統計に引続き減少傾向です。
- 「不正改ざんサイトの」の検知数が僅かに増加していますが、その他の項目については減少傾向が続いています。

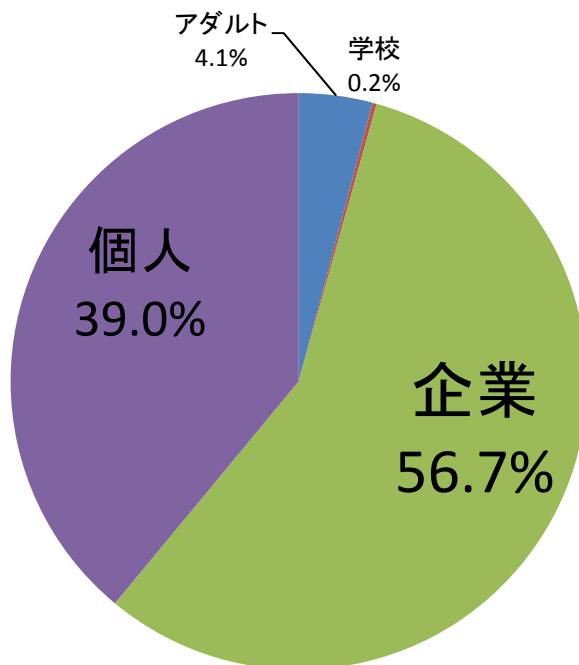
1.4 「gred でチェック」のチェック結果に表示される脅威の説明

表示される脅威の名称	説明
フィッシング詐欺	本物そっくり、偽造されたウェブサイトです。ユーザの ID や、パスワード等の個人情報を不正に取得します。
ワンクリック不正請求	ウェブサイト上のボタン等をクリックしただけで、契約が成立したように見せかけ、料金を不当に請求する詐欺を行っているウェブサイトです。
偽ソフトウェア(不正プログラム)	不当に料金を請求する、実際には機能しない、偽物のソフトウェアを配布しているウェブサイトです。
不正攻撃サイト	他のコンピュータに存在する脆弱性を突いて、攻撃を行うことを目的として作成されたウェブサイトです。
不正改ざんサイト	攻撃者によって、不正に改ざんされてしまった状態になっているウェブサイトです。
ウイルス(不正プログラム)	ウイルスが仕掛けられているウェブサイトです。閲覧すると感染被害の恐れがあります。
ワーム(不正プログラム)	電子メールやネットワークを利用し自己増殖する、ワームが仕掛けられているウェブサイトです。閲覧すると感染被害の恐れがあります。
スパイウェア(不正プログラム)	個人情報等をコンピュータから盗む、スパイウェアが仕掛けられているウェブサイトです。閲覧すると感染被害の恐れがあります。
その他のマルウェア(不正プログラム)	ウイルス、ワーム、スパイウェア以外の不正プログラムが仕掛けられているウェブサイトです。閲覧すると感染被害の恐れがあります。

2 数値で見る「不正改ざんサイト」の内訳(図表 2.1., 2.2.)

図表 2.1.

ウェブ改ざん被害の内訳(2010年9月)



図表 2.2

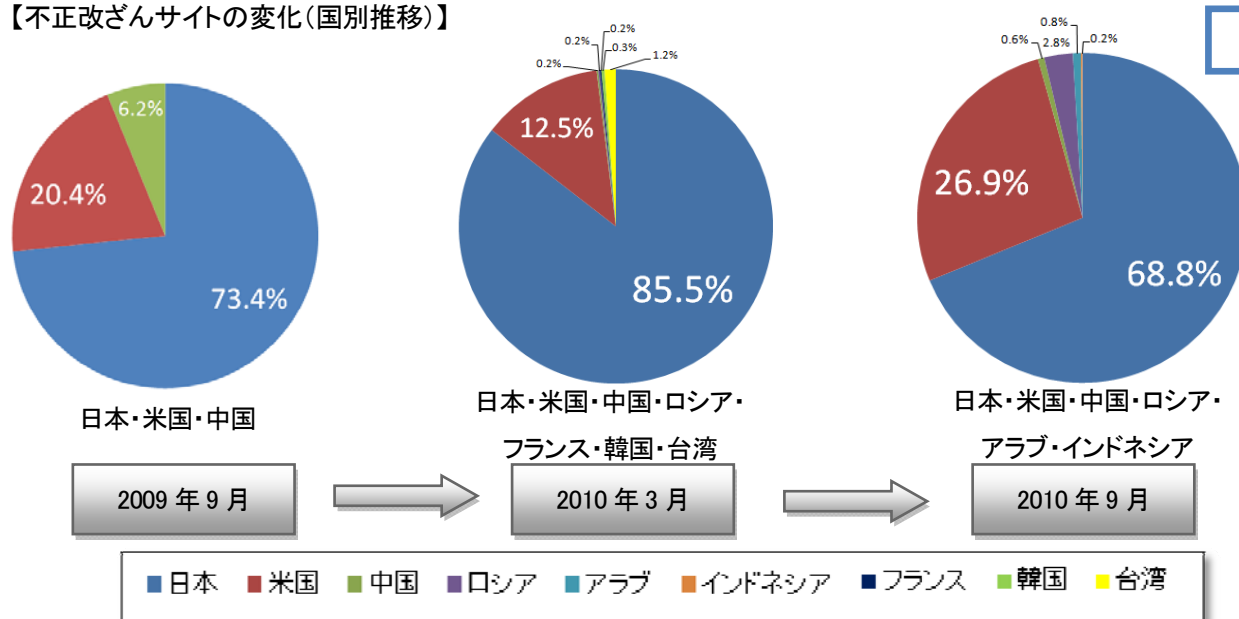
	2010年9月	2010年8月	2010年7月	2010年6月	2010年5月	2010年4月
「危険」と判断されたウェブサイトにおける「Drive by Download タイプの攻撃」の割合	5.2% (226 件/4342 件)	6.6% (305 件/4,630 件)	15.0% (759 件/5,061 件)	14.6% (813 件/5,578 件)	15.3% (781 件/5,088 件)	9.6% (393 件/4,085 件)
「不正改ざんサイト」の検知件数における「Drive by Download タイプの攻撃」の割合	35.0% (226 件/645 件)	48.3% (305 件/631 件)	70.2% (759 件/1,081 件)	71.9% (813 件/1,130 件)	67.3% (781 件/1,160 件)	56.4% (393 件/697 件)

3 世界中に広がる不正改ざんの被害(図表 3.1)

不正改ざんサイトの被害は世界中に広がっています。下図 3.1 は、セキュアブレインが「gred でチェック」で収集した「不正改ざんサイト」の検知ログを基に、どの国のウェブサイトが被害にあったかを、使用されている言語から 2009 年 9 月、2010 年 3 月、2010 年 9 月の 3 つの時期別に判断したものです。

この図を参照すると、「Gumblar」による攻撃が初めて確認された 2009 年 9 月の統計では、「不正改ざんサイト」は日本、米国、中国のみが確認されていました。しかし、「Gumblar」による被害が大きく広まった 2010 年 3 月以降は、ロシア、アラブ、インドネシア、フランス、韓国、台湾等の国のウェブサイトでも改ざん被害が確認されています。

【不正改ざんサイトの変化(国別推移)】



図表 3.1.

日本のインターネットユーザは、海外ウェブサイトの閲覧も日常的に行い、より多くの情報を得ようになっています。反面、海外のウェブサイトにおいては、ホスティング業者のずさんな運営、取締りを行う機関のカバー範囲から、「悪質なウェブサイト」が閉鎖されず、被害の拡大を続けているようものも確認されています。

特に「Drive by Download タイプの攻撃」においては、ウイルスの感染力を利用して、国に関係なく「不正改ざんサイトの被害」が拡大していきます。

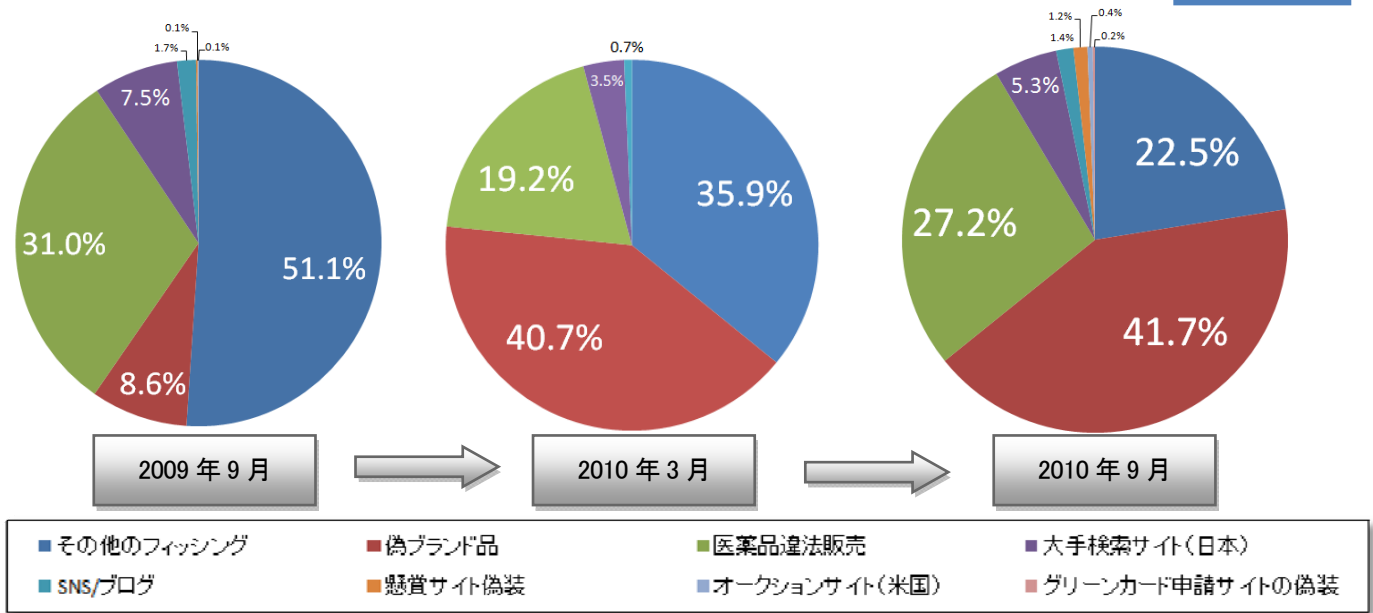
4 フィッシング詐欺サイトのトレンドの変遷(図表 4.1)

フィッシング詐欺サイトは、ユーザの個人情報等を騙し取る為の手法を常に進化・変化させています。下図 4.1 は、セキュアブレインが「gred でチェック」で収集したフィッシング詐欺の検知ログの内訳を、2009 年 9 月、2010 年 3 月、2010 年 9 月の 3 つのポイントにおいて比較したものです。

この図を参照すると、フィッシング詐欺サイトの内訳に大きな変化が生じている事が分かります。1 年前の 2009 年 9 月では「その他のフィッシング」が 50%以上の割合でしたが、2010 年 3 月以降、2010 年 9 月においても「偽ブランド品」を販売すると偽って、情報詐取を企てるウェブサイトが多く使われている事が分かります。

【フィッシング詐欺サイト内訳の変化】

図表 4.1.



また、フィッシング詐欺サイトの種類についても 2010 年 9 月は 1 年前に比較して、多岐にわたっている事が分かります。特に最近ユーザ数が急激に増加している、SNS やブログサービスを偽装して情報を搾取するフィッシング詐欺サイトの事例が発生しています。

個人情報を取得する手法は、インターネットユーザが利用するサービスのトレンドに併せて常に変化しています。

5 個人・企業それぞれに求められる、セキュリティ対策とは？

5.1 個人向けの対策:「gred でチェック」「Internet SagiWall(インターネット・サギウォール)」「gred AntiVirus アクセラレータ」

セキュアブレインでは、閲覧しようとしているウェブサイトの安全性を、ブラックリストを使わずに判断する、セキュリティサービス「gred でチェック」(<http://www.gred.jp>)を無料で提供しています。

また、ウイルス対策を無料で強化する、コミュニティ型ウイルス対策製品「gred AntiVirus アクセラレータ」(<http://www.securebrain.co.jp/products/gredavx/index.html>)もダウンロード提供を行っています。

また、ウェブサイトのコンテンツやリンク先等複数の要素を解析し、オンライン詐欺サイトや不正プログラム等を配布している危険サイトをブラックリストを使わずに検知する「Internet SagiWall」(<http://www.securebrain.co.jp/products/sagiwall/index.html>)も提供しています。危険なウェブサイトを閲覧してしまった場合、瞬時に画面を遮断し警告画面を表示します。

■「gred でチェック」URL

<http://www.gred.jp>

■「Internet SagiWall」の製品紹介 URL

<http://www.sagwall.jp/index.html>

■「gred AV アクセラレータ」URL

<http://www.securebrain.co.jp/products/gredavx/index.html>

5.2 企業向けの対策:「gred セキュリティサービス」

企業のウェブサイトの管理者は、自社のウェブサイトの安全性を、自動で定期的に監視するソリューションが必要です。セキュアブレインでは、企業のウェブサイトが不正に改ざんされていないかを定期的に監視し、問題が発見された場合には、即座に管理者に通知する、SaaS 型セキュリティサービス「gred セキュリティサービス」をご提供しています。

「gred セキュリティサービス」は、ブラックリストを使わずに、ウェブサイトの「今の状態」をリアルタイムに判断します。

「gred セキュリティサービス」の「無償トライアル版」は、自社ウェブサイトの URL、アラートメール送信先等の情報を登録するだけで、すぐにサービスを利用開始することができます。「gred セキュリティサービス」は、検査対象となるウェブサイトのコンテンツを、ダウンロードして検査を行いますので、ウェブサイトへの負荷はほとんどかかりません。

■「gred セキュリティサービス」無償トライアルお申込み URL

<http://www.securebrain.co.jp/products/gred/trial.html>

■「gred セキュリティサービス」の機能詳細説明 URL

<http://www.securebrain.co.jp/products/gred/function.html>

以上

セキュアブレインについて:

株式会社セキュアブレインは、インターネット上の脅威が多様化する中、「より快適で安心できるネットワーク社会を実現するために、一歩進んだ技術で貢献する」というビジョンのもと、信頼性の高いセキュリティ情報と高品質なセキュリティ製品・サービスを提供する日本発のセキュリティの専門企業です。詳細は、www.securebrain.co.jp をご覧ください。

◆ 本件に関する報道関係者さまからのお問い合わせ先 ◆

株式会社セキュアブレイン 広報担当:丸山 芳生(まるやま よしお)

e-mail: info@securebrain.co.jp

電話:03-3234-3001、FAX:03-3234-3002 〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-6-7 麹町 RKビル 4F